

災害時小児周産期リエゾンの任命状況について

1 災害時小児周産期リエゾンの概要

災害対策本部等において、小児・周産期医療に関する専門的助言を行う「災害時小児周産期リエゾン（以下、「リエゾン」とする。）」について、国の養成研修が H28 年度から開始され、本県では令和 3 年度までに 23 名を派遣している。（令和 4 年度は 6 名派遣）

H31.2 月には、厚生労働省から「災害時小児周産期リエゾン活動要領」が通知され、その中でリエゾンの役割が都道府県からの任命により都道府県の災害対策本部（保健医療調整本部）で災害医療コーディネーターをサポートすることと示された。

※ 災害医療コーディネーター

災害時に、都道府県が保健医療活動の総合調整等を適切かつ円滑に行えるよう、災害対策本部（保健医療調整本部）において、被災地の保健医療ニーズの把握、保健医療活動チームの派遣調整等に係る助言及び支援を行うことを目的として、都道府県により任命された者。

2 任命状況

令和 5 年 3 月 28 日現在 21 名に任命している。

【内訳】

周産期医療圏	任命者数
盛岡・宮古	15 名（産科 8 名、小児科 7 名）
岩手中部・胆江・両磐	2 名（小児科 2 名）
気仙・釜石	1 名（産科 1 名）
久慈・二戸	3 名（産科 1 名、小児科 2 名）
計	21 名（産科 10 名、小児科 11 名）

※ 養成者数 23 名との相違 2 名については、当該養成者が所属機関を退職したこと等によるもの。

※ 上記に加えて、今年度の受講者 6 名（産科 2 名、小児科 4 名）が追加となる見込み。

3 令和 4 年度の研修について（国主催）

○ 災害時小児周産期リエゾン養成研修

開催日： 講義…集合研修までにオンライン受講

集合型研修…①令和 5 年 1 月 15 日（日） ②令和 5 年 2 月 23 日（木・祝）

会場：東京医科大学西新宿キャンパス

受講者数：6 名